

事業番号	16 01 14	事業改善シート(27年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 予算要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	精強な第一線警察の構築事業		担当課	部局 警察本部 課・室 警務課・教養課 E-mail police-keimu@pref.nagano.lg.jp 実施期間 S29 ~
総合5か年計画	プロジェクト	4-2 県民生活の安全確保 1 犯罪のない安全な社会づくり		

1 事業の概要

目指す姿	警察に課せられた責務を果たすため、組織の基盤を構成する「優秀な人材」を確保するとともに、各種教養及び訓練を推進し、高い倫理感の醸成、実務能力、強靱な体力、気力及び術科技能の向上を図り、精強な第一線警察を構築する。
------	--

現状(予算編成時)	警察官としてふさわしい能力と適性を有する人材を確保することは、警察力の基盤強化を図る上で極めて重要である。警察官の大量退職時代の中、優秀な人材を確保するとともに、各種教養、訓練を通じて精強な警察官を育成する必要がある。
-----------	---

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務) 【左記の説明、根拠法令等】 警察法、警察教養規則、警察教養細則 県民との協働による実施: 実施は困難 長野県警察の教養に関する訓令 ほか
----------	---

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 警察業務に必要な資質を備え、心身とも健康で勤務意欲が高い優秀な職員を確保するための必要な募集施策を実施し、受験者の拡大と精強な警察官を育成する。 ○ 「女性警察官の採用・登用の拡大に向けた計画」に基づき、平成32年4月までに全警察官の10%以上を女性警察官とする。 ○ 県民に信頼される執行力を備えた警察官を育成するため、適正な職務執行をするための実務能力と誇りと使命感を醸成するための教養を推進する。 ○ 術科訓練の活性化を図り、現場における犯人の制圧・逮捕に際し、冷静かつ的確に対処できる精神力と技能を修得させる。 ○ 交通街頭活動中の殉職・受傷事故の絶無を期すため、体制の強化と教養の充実を図る。 			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初) (決算)
1.優秀な人材確保	直接	・警察官募集広告活動経費 ・試験会場負担金 等	4,828 4,625	5,225
2.警察官育成・教養事業	直接	・部外講師等による教養、訓練用機器のリース料等	2,769 2,456	2,433
3.各種術科訓練の推進	直接	・術科訓練用消耗品の整備 ・各種大会参加への負担金	1,746 1,461	1,759
4.運転技能訓練の推進	直接	・緊急自動車運転技能向上のための訓練経費	5,009 4,808	5,414
		合計	14,352 13,350	14,831

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	14,623	13,913	14,352	14,831
	補正予算				
	合計(A)	14,623	13,913	14,352	14,831
	Aの財源				
	一般財源	8,000	7,592	7,759	8,313
	県債				
	国庫支出金	6,502	6,219	6,451	6,376
	その他	121	102	142	142
決算額(B)	13,837	12,936	13,350		
概算人件費					
職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	
概算人件費(C)	83	83	83	83	
概算事業費(B(A)+C)	13,920	13,019	13,433	14,914	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
部外講師等教養	50回	50回	50回	達成	50回
映像射撃シミュレータ訓練	延べ 3,000人	延べ 3,000人	延べ 3,186人	達成	延べ 3,000人
女性警察官の比率	7.8%	8.3%	8.5%	達成	8.9%
男性警察官応募者数	1,106人	1,500人	993人	未達成	1,150人
女性警察官応募者数	321人	500人	296人	未達成	260人

目標に対する成果の状況	部外講師による倫理教養や、幹部・指導者・若手等を対象とした各種講習会、訓練を実施し、警察官として必要な実務能力、強靱な体力、気力及び術科技能の向上を図った。 長野県の治安を担う人材を確保するため各種採用活動を推進したが、警察官応募者数993人(前年比-113人)、女性警察官296人(前年比-25人)と男女とも昨年を下回り、目標達成に至らなかった。要因として、民間企業の採用活動の活発化、警察業務の魅力発信が学生等に広く浸透しなかった点等が挙げられる。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 強靱な組織の構築のため、警察官個人としての実務能力、術科技能等の向上を図る各種事業を更に推進する。 女性警察官の比率を平成32年4月に10%以上(平成33年4月から1年短縮)の目標に向け、引き続き計画的な採用を行う。 長野県の治安を守り、長野県警察の未来を担う人材を確保するため、リクルーティング・サポーターによる採用活動を始めたとして、各種採用活動を積極的に推進する。
--------------------	--